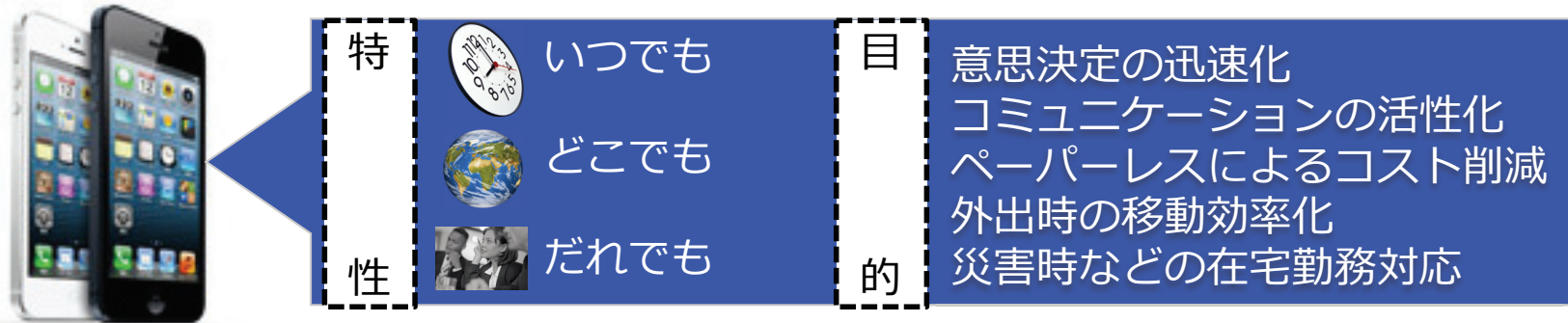


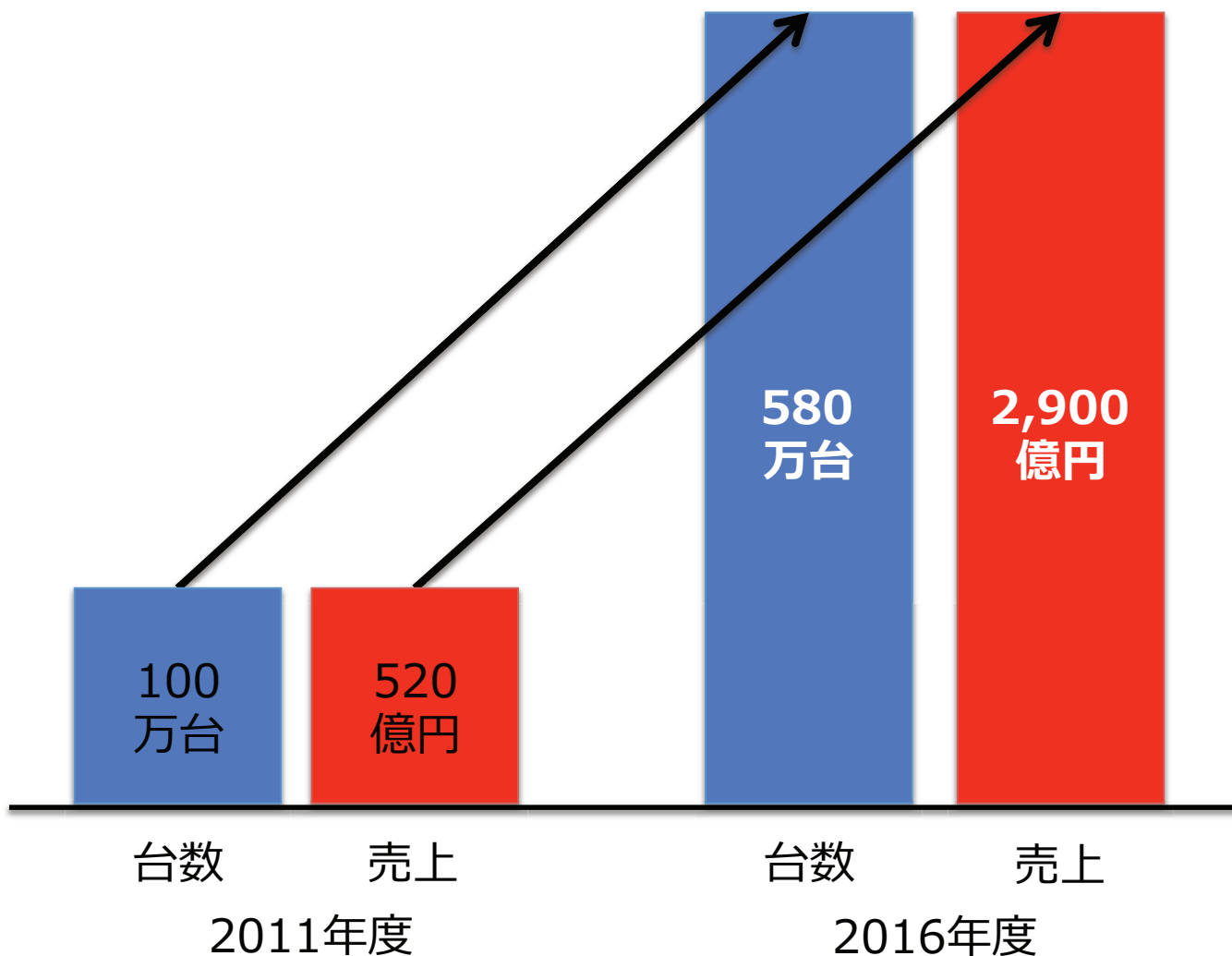
社名	エス・アンド・アイ株式会社	
代表取締役社長	藤本 司郎	
創立	1987年7月31日	
資本金	4.9億円	
出資会社	ユニアデックス株式会社 日本アイ・ビー・エム株式会社	
社員数	175名 (2013年4月1日現在)	
本社	〒103-8507 東京都中央区日本橋箱崎町30-1 タマビル日本橋箱崎	
支店	関西営業所(大阪)、中部営業所(名古屋)、西部営業所(福岡)	

企業での活用が進むスマートデバイス

現在、多くの企業が「いつでも」「どこでも」「誰でも」使える
スマホ/タブレットをビジネスの場に生かそうと、取り組んでいます。



スマートフォンの出荷台数は今後も伸び続け、**3,000億円**規模に

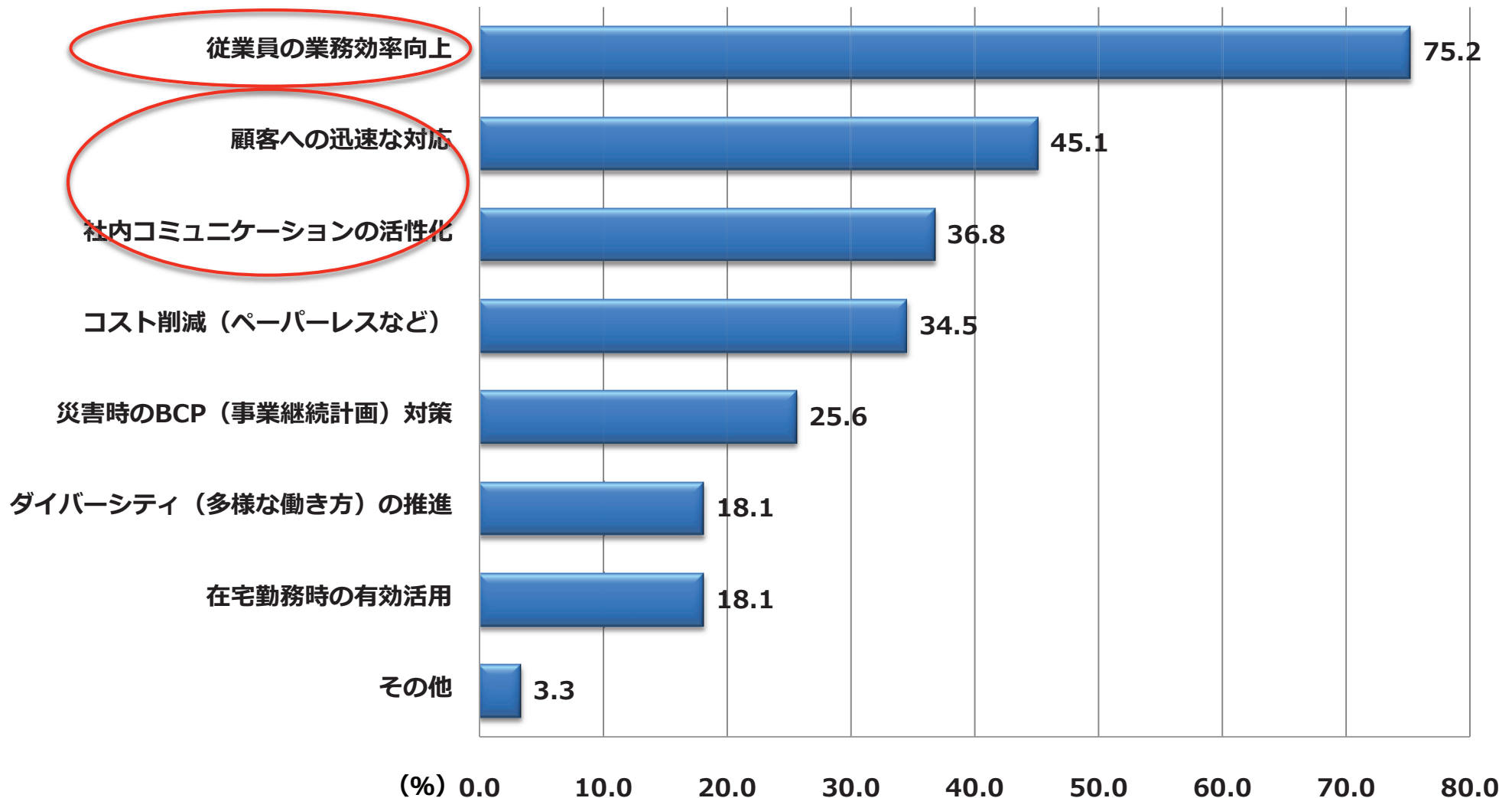


データ出典：富士キメラ総研 2012年5月

© 2013 S&I CO., LTD. All rights reserved.

スマートデバイス導入に期待する効果

- **75.2%**が「業務効率向上」に期待している
- 「顧客への迅速な対応」「コミュニケーションの活性化」がそれに続く



データ出典：「企業のスマートデバイス利用に関するアンケート調査」（テックターゲットジャパン・ITMedia）2011年6月 N=359

© 2013 S&I Co., Ltd. All rights reserved.

よくあるケース



当社もスマホ/タブレットを積極的に活用して業務改善、モバイルワーク促進、生産性向上を図ろう！



スマホもタブレットもお金がかかる
月々ものすごいコストアップに
なってしまうのではないか??



そうだ！話題のBYODにすればいい！
みんなだいたい持っているし
そうすれば端末代がクリアできる！



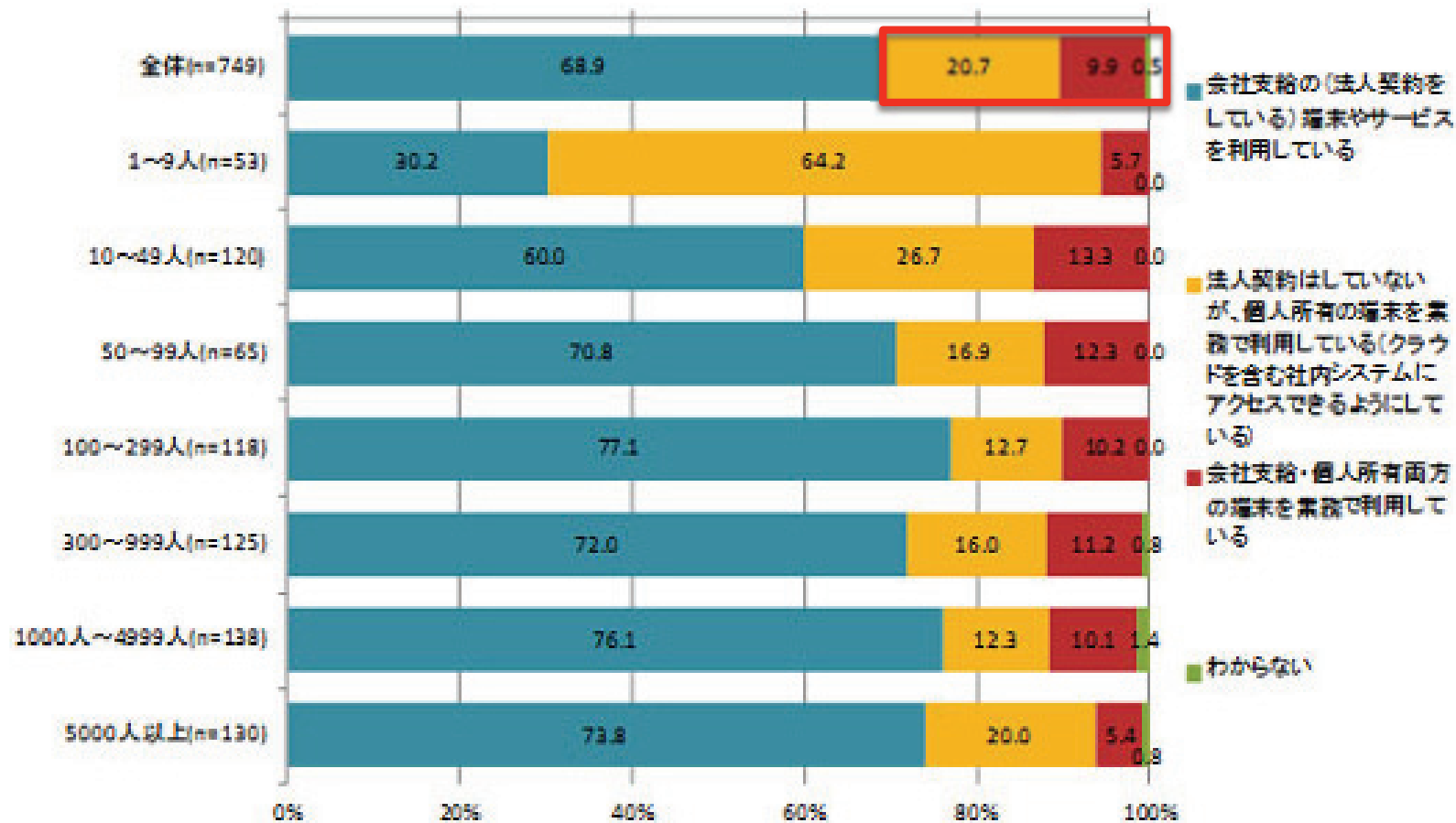
セキュリティ対策はどうすれば？
個人端末なんてますますどうしていいか
その対策費用は？結局リスクのほうが大？

表向きは
とりあえず「禁止」
にしておこう

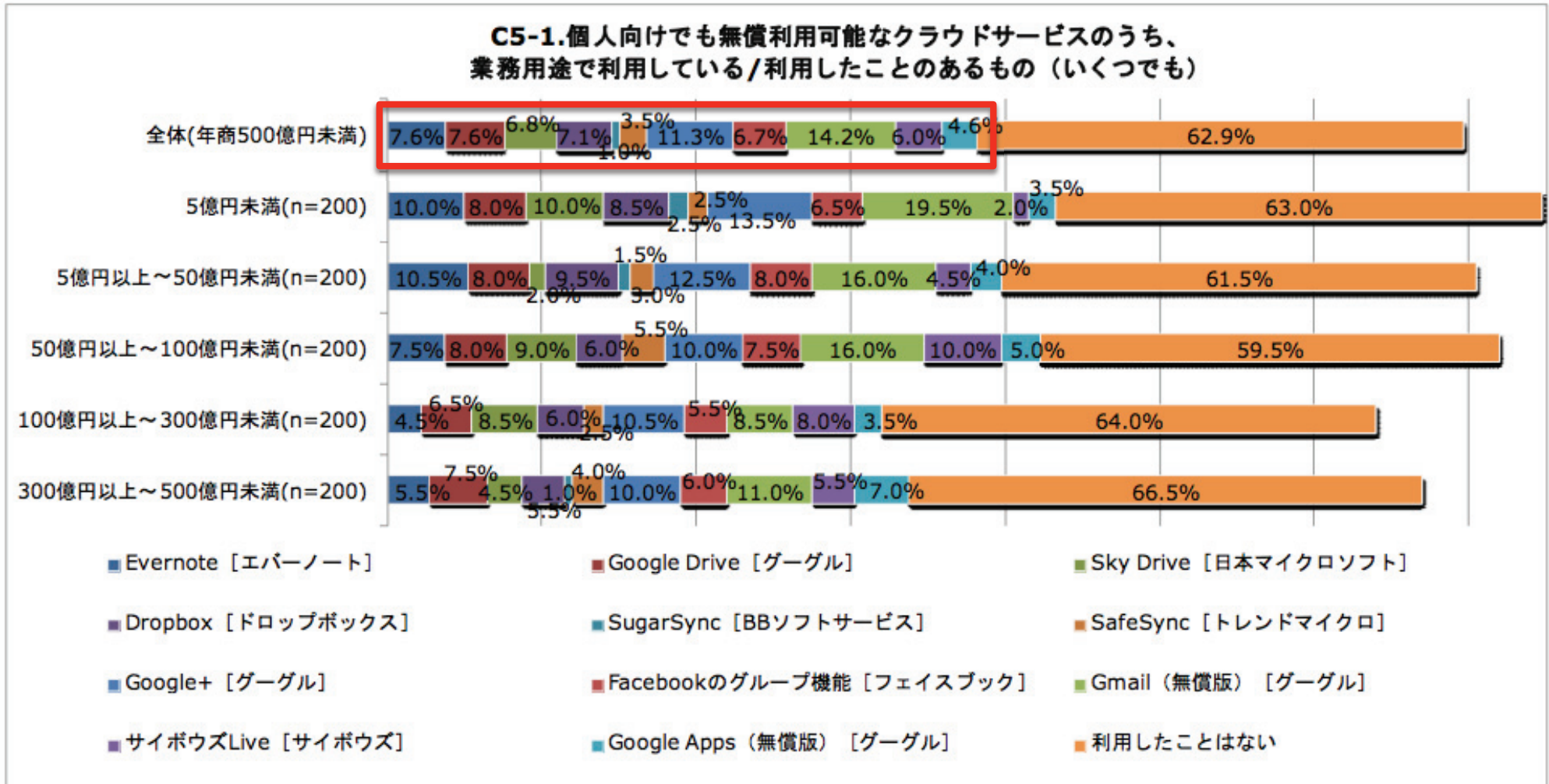


個人所有スマートフォンの業務利用

企業のBYOD導入率は**30.5%**、1~9人の小規模企業では**69.9%**に



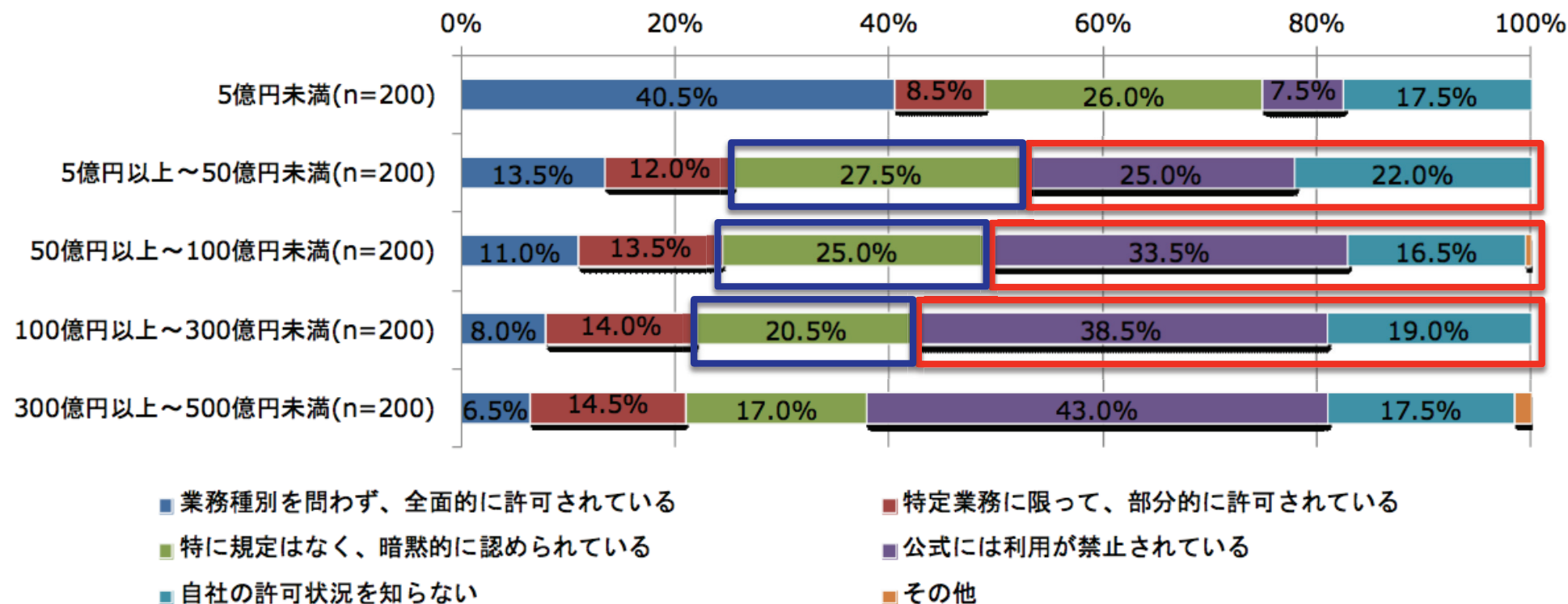
「利用したことが無い」は62.9%、約**4割**が利用している



許可/部分的許可は、全体の約3割弱のみ

約25%が利用黙認状態、約45%が利用禁止/未把握

C5-2.個人向けでも無償利用可能なクラウドサービスの許可状況

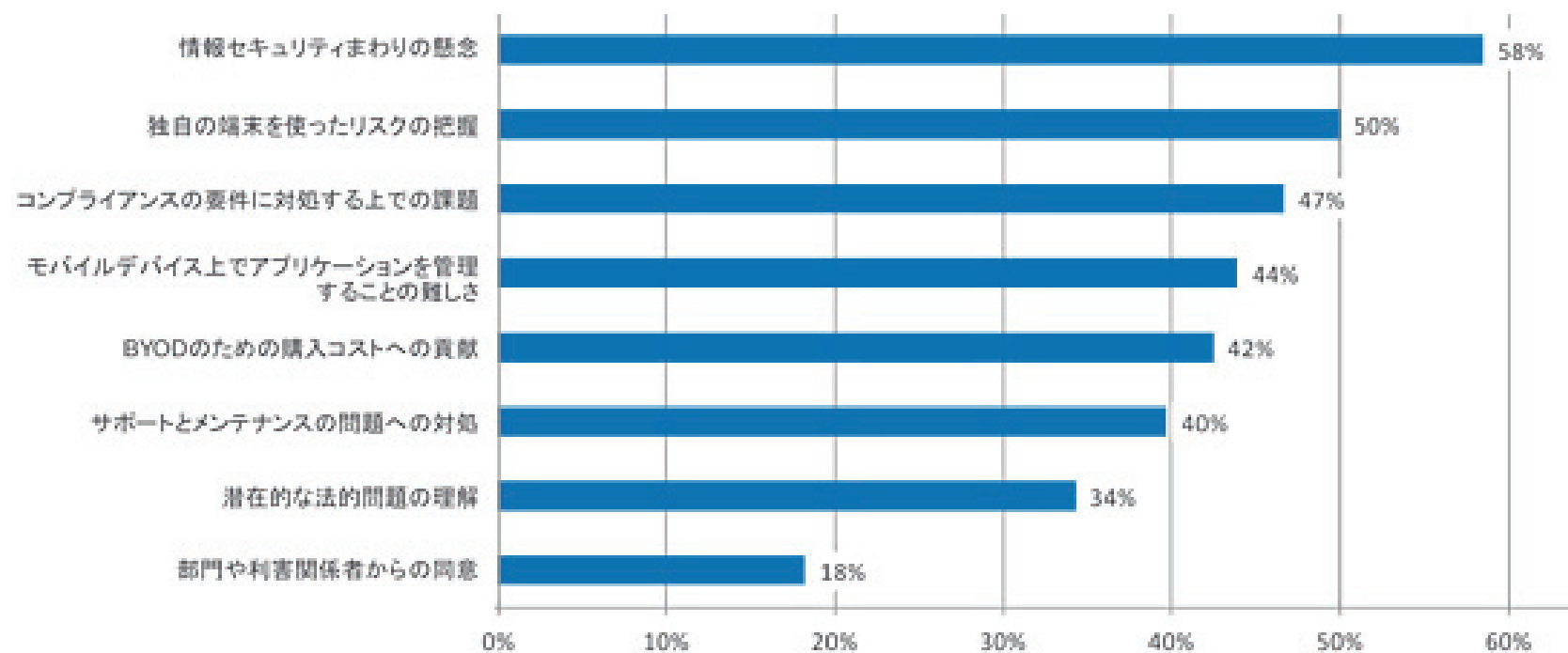


出典：ノークリサーチ/ 調査：2012年09月

「隠れBYOD」が蔓延しているのが実体？

BYOD導入の課題

- セキュリティ
- コスト
- コンプライアンス（労務管理など）



出典：「未来の職場に関する意識調査」(シトリックス) 2012年10月

S&I's CASE

ITシステムのインテグレーションやサービスの会社
約170名の正社員の内、110名が技術者／40名が営業

内勤を除く大半の社員が「**会社支給**」の

ノートパソコン

携帯電話

データ通信カード

を持ち、いつでもどこでも激務に耐え抜く！

きっかけは、スマホ導入による**コスト増**！
なんとかせねば・・・

BYOD

Bring Your Own Device

私物解禁

抱えていた課題

PBXの老朽化

今壊れたらメーカーサポートはおろかパーツも無い・・・

メールサーバもそろそろ・・・

Exchangeのリプレイスはお金がかかるなあ～

内外線で利用していたPHS端末

とても便利なのに時代の流れ、もう売ってない・・・



解決策

UCシステムの導入

1システムでPBX、メール、グループウェアとして動作する安価で便利なシステムを開発・導入



PHS → iPhoneに

専用アプリで内線／会社番号での発着信（脱PHS/FMC実現）
会社メールの送受信
サーバ同期で常に最新のアドレス帳が利用可能
ボイスメールや電話会議など色々便利に
セルフリモートワイプ機能による紛失時対策



1台でビジネスとプライベートの電話を利用



会社番号発着信



代理応答



保留・解除



転送条件設定



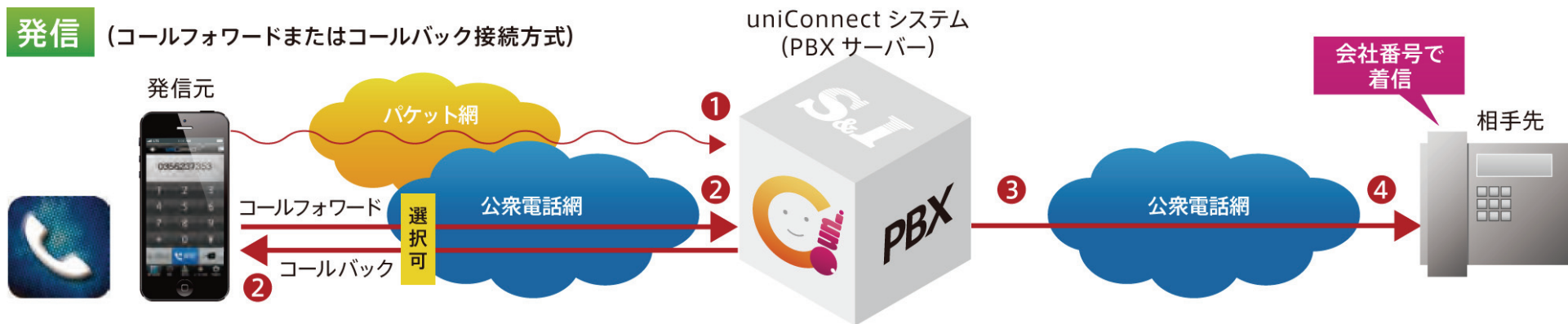
転送



ボイスメール

FMC「発信」のしくみ

発信 (コールフォワードまたはコールバック接続方式)

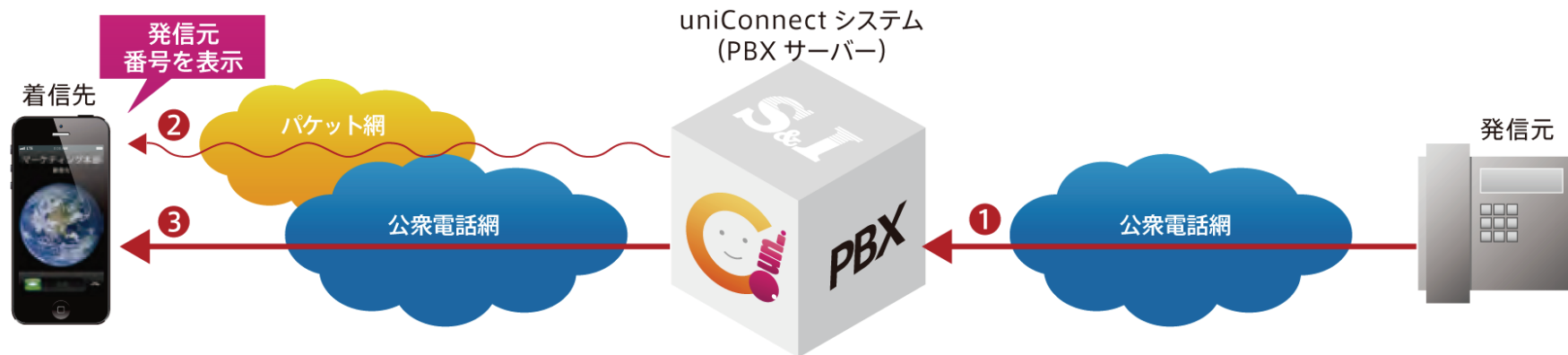


- ① パケットにて「相手先の電話番号」をuniConnectシステム(PBXサーバー)に送信
- ② (コールフォワード接続の場合) 同PBXサーバーに電話発信・接続 ② (コールバック接続の場合) 同PBXサーバーからスマートフォンに着信
- ③ 同PBXサーバーから相手先に発信 ④ スマートフォンからの発信でも「会社番号」で相手に着信

制御はIPで行うが、通話はVoIPではなく3Gを利用
WiFi環境や場所を問わず**安定した品質**で通話が可能！

FMC「着信」のしくみ

着信



- ① 発信元が会社番号に発信
- ② パケットにて「発信元の電話番号」を uniConnect システム (PBXサーバー) から着信先に送信
- ③ 同PBXサーバーからスマートフォンに転送。このときスマートフォンでは、②で受け取った発信元の電話番号を表示

FMC着信時に発信元の電話番号が表示可能！
uniConnectだけの機能（特許出願中 特願2010-288643）



転送先設定

勤務時間外の自動転送先変更

出張や長期休暇時他、スマホからいつでも着信先を変更可能！



ボイスメール

不在、通話中に録音されたメッセージは、音声ファイルにてメールで着信。

常にボイスメールの設定にすることも可能。



セルフリモートワイプ^oと端末位置確認

ユーザ自身で端末位置の確認・端末初期化
自動的に関係者へ通知

「初期化」専用ダイヤルへ架電



ID/PW認証



端末位置捕捉
ワイプの実行



端末初期化
(工場出荷状態へ)

メール自動通知

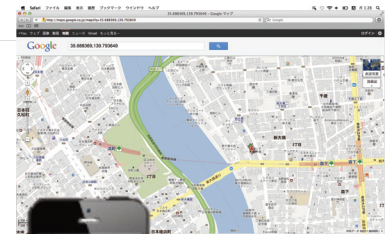
To. 上司、情報システム/セキュリティ管理者等



端末位置を自動メール通知



MAPで端末位置確認



安否確認/位置情報確認機能を標準実装

BITS 2013

NIHON UNISYS GROUP
BUSINESS & ICT STRATEGY FORUM

安否確認システム

安否確認 状態表示

安否確認

以下のメッセージを送信し位置情報の取得を行います。
対象人数: 12人
メッセージ(最大70文字):

安否確認
相模湾で震度6強の地震が発生しました。本メッセージを受け取った社員は直ちに回答してください。

自動再送
 応答のないアカウントに対して一定期間自動で再送する
安否確認時間: 5 分

再送間隔
位置情報再送間隔: 2 分
安否メッセージ再送間隔: 1 分

メール再送
 メール再送を行う
メッセージが 3 分まで応答がない場合、メールで通知

***メール本文のURLは安否確認終了時まで有効です
***メール送信後は再送は実施しません

その他
 終了時に安否メッセージ応答結果を各アカウントに通知

OK Cancel

ユーザ名	位置	応答
田崎 信三	未実施	未実施
志村 康司	未実施	未実施
福島 二葉	未実施	未実施
星野 真一	未実施	未実施
増田 隆一	未実施	未実施
横田 昌司	未実施	未実施
石川 史子	未実施	未実施
疋田 和可奈	未実施	未実施
佐々 博音	未実施	未実施

位置 14 メッセージ 14

■ 接続無 ■ 接続有・応答無 ■ 応答有

メッセージ

確認が可能です。
[10:07:12] - [INFO] 位置情報の読み込み開始。
[10:07:18] - [INFO] 位置情報の読み込み終了。
[10:07:18] - [INFO] マップ情報読み込み開始
[10:07:18] - [INFO] マップ情報読み込み完了

Ready 10:09:06 AM

10:09
3月28日(水曜日)

uniConnect II

安否確認
相模湾で震度6強の地震が発生しました。本メッセージを受け取った社員は直ちに回答してください...

表示

SoftBank 3G 10:13 79%

受信 1/476

メッセージ配信時刻は 2012-03-28 10:13:06 です。

【再送・行き違いの場合はご了承ください】
本メールはuniConnectで応答がないためメールにて再送しております。
内容をご確認いただけましたらすぐにメール最下部のURLをクリックしサーバに応答を送信してください。

安否確認
相模湾で震度6強の地震が発生しました。本メッセージを受け取った社員は直ちに回答してください。

便利だがやはりコストが・・・

NOTE PC	(MacBook or ThinkPad)	月¥3,400/台
ケータイ	(iPhone)	月¥6,000/台
データカード	(UltraWiFi)	月¥3,800/台
		TOTAL ¥13,200/人

特に・・・

パケ放題を含む**スマホ**の月額基本料は約6,000円/台！

社内に約170台 月1,000,000円（年間**12,000,000円**）

PHS時代はその半分で済んでいた

年間で**600万円**、月¥3,000/台の**コスト増**
どうするか・・・



会社と社員で**平等に2等分**

BYOD社員に**月3,000円**支給

会社も3,000円のコスト削減、社員もナットク

その代わり・・・

「会社のルールに従っていただきます！」

<主な規則>

- 会社のセキュリティルール厳守、落としたら**即リモートワイプ!**
- 2回の違反で利用禁止!
- 会社支給端末利用者は、壊したら1万円の自己負担!
- 主目的はコスト削減、会社の**契約回線以外のキャリア端末はNG!**



Part 1
スマホ

コスト削減 第2弾：データ通信カードもBYOD

従来かかっていた費用は、
100枚で月380,000円、年間で**4,560,000円**！

データカードの定額プランは現在約3,800円/月
スマホ同様、会社と社員で平等に2等分
同意した社員には、**月2,000円**支給

こちらは特定のキャリア縛りは必要ナシ
「**テザリング対応ケータイもOK**」とすることで、
スマホのBYOD化ができなかった社員もハッピーに！



Part 2
データカード

最後に残るは、ノートPC（まだこれから）
計 約220台 年間**8,000,000**円

しかし、
条件が整わなければES/生産性が下がるだけ
コスト削減だけを優先はできない



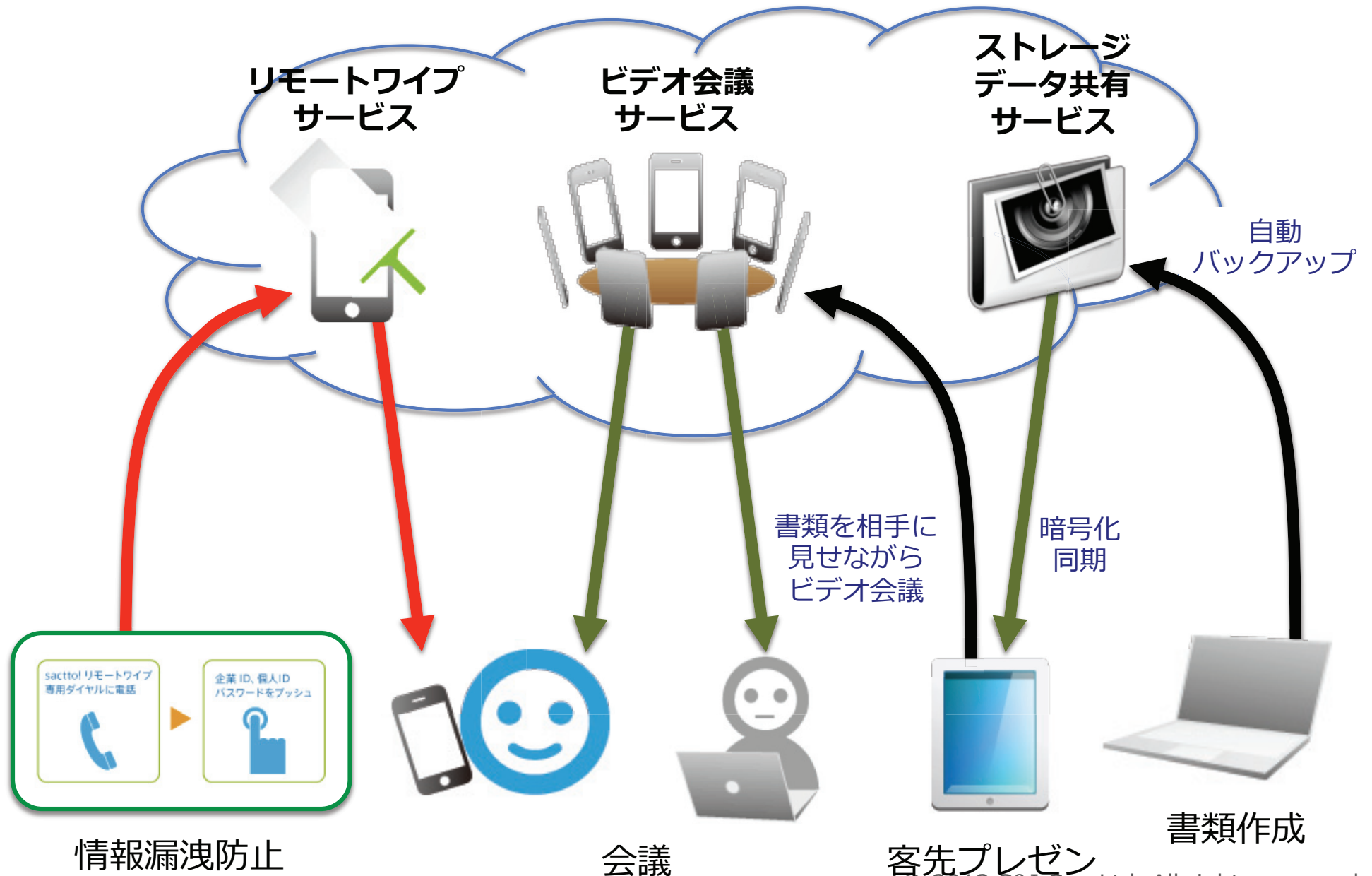
Part 3
パソコン

<条件>

- デバイスフリーで利用できるアプリ環境の実現
- ペーパーレスで業務が行えるプロセスの構築
- セキュアにデータを共有、保存できるツールの導入
- BYODだからこそ必要な「教育」と「迅速な対応」

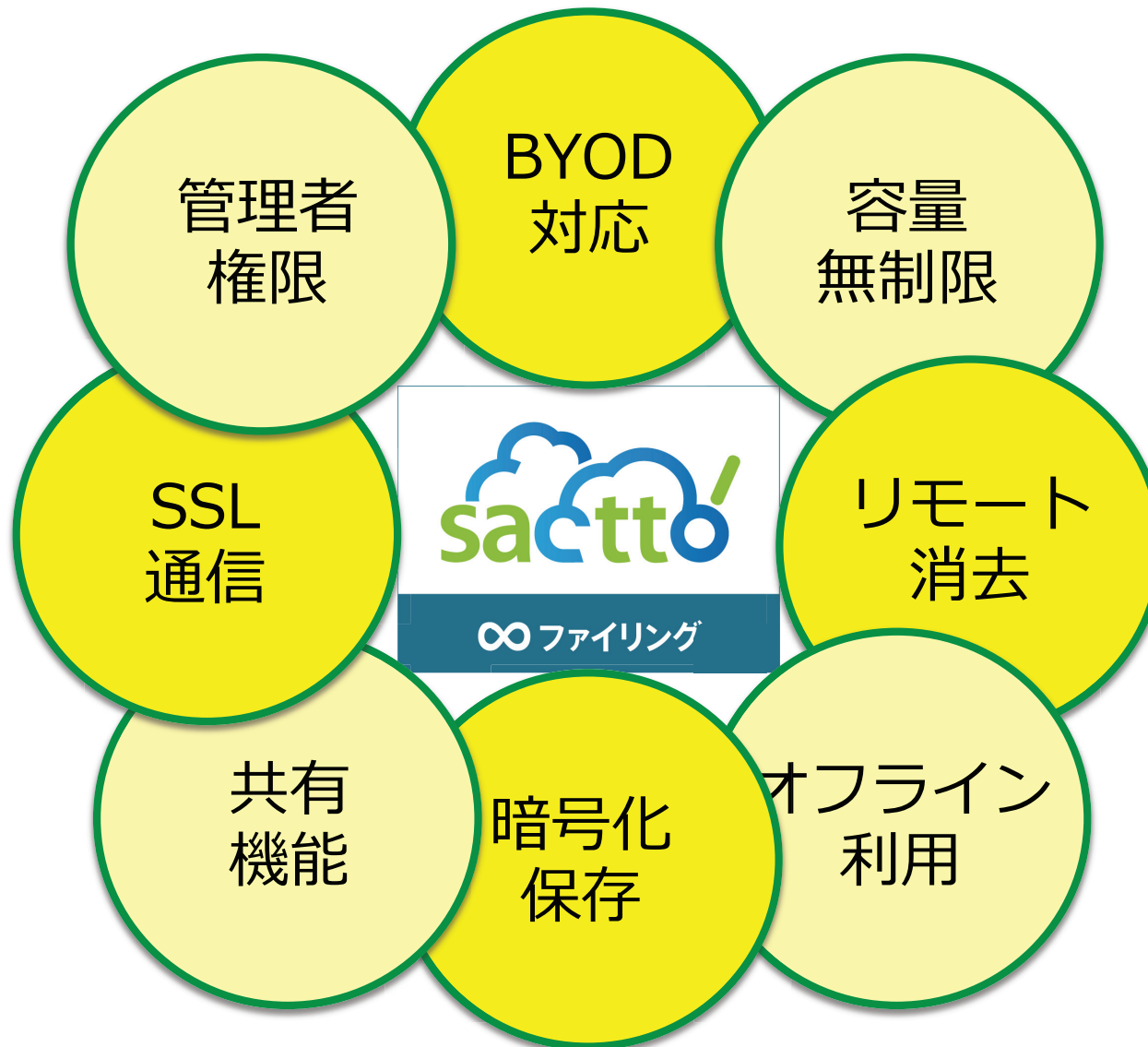
実現すべき解は？

ワークスタイルに合った環境の提供



会議

客先プレゼン



社員1人あたりのコストサマリ (Before/After)

	【以前】	【現在】	【将来】
NOTE PC	¥3,400	¥3,400	¥1,500
携帯電話	¥6,000	¥3,000	¥4,000
データカード	¥3,800	¥2,000	¥0
	¥13,200	¥8,400	¥5,500
		¥-4,800	(¥-7,700)
		-36%	(-58%)

BYOD環境整備の為の新たな投資

オンラインストレージ	¥900
情報共有ポータル	¥300
リモートワイプ/MDM	¥300
	+¥1,500

必要なクラウド/スマートデバイス利用環境の整備、必要なセキュリティ対策への投資を行っても、BYODを推進すれば**-47%のコスト削減**に！

会社が用意するのは、セキュアでデバイスフリーなアプリ環境
個人が用意するのは、デバイス（文房具と同じ）

「BYOD」 x 「Self Service IT」 でコストを抑制



